

# 1の空白-

住民自身が空間・雰囲気・光を創り出す住居



# 2

## CONCEPT

オーナーが間取り（収納スペース・トイレ・キッチン等の設備）を決めて、あとの家具の配置・ライトなどは住人が自由に決めて雰囲気を創ることができる住居。

規格化した家具の材料を提供するので、住人が組み立てて工夫次第で、どの家具にも自由自在に作ることができる。

人によって特性の違いあることから住居に求めるものも異なってくる。自分で考えて工夫することによって住居に対する感情も深くなるだろう。

そのことから住居の半分を住人自身で創る空間（空白）が必要となる。



**空白スペース**  
自由自在に空間を創造するスペース

**収納スペース (1)**  
トイレの配水管を隠すためのスペースを用意

**収納スペース (2)**  
梁を隠すためのスペースを用意

**取り外し可能な仕切り**  
1つの空間を好みに  
空間をわけることができる

**すのこ**  
室内床と同じ木材のものを使うことで  
広々としたように感じさせる

**仕切りの収納スペース**  
仕切りが要らないときは  
ここへ収納できる

**洗濯機置き場**  
換気の良さを求めて窓のある場所に設置



**空白スペース**  
自由自在に空間を創造するスペース



洋室



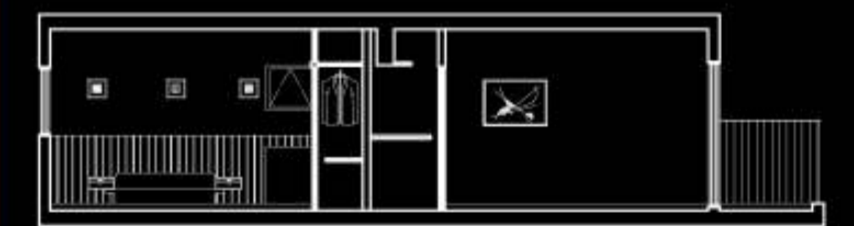
入り口



## PLAN



A-A'立面図 S: 1/100



B-B'立面図 S: 1/100



平面図 S: 1/100

## EXPLANATION